

埼玉県大学・短期大学図書館協議会 第27回総会議事録

日 時： 平成26年6月13日（金）14:00～15:10
場 所： 城西大学水田記念図書館9階
出 席： 21館（36名）、委任状提出26館
開会の辞： 淑徳大学みずほ台図書館 相澤修一郎
開会挨拶： 代表幹事館 文教大学越谷図書館館長 岸田直子
会場校挨拶： 城西大学水田記念図書館館長 橋本フミ恵
議長・書記選出： 議長 駿河台大学メディアセンター 井上勝海
書記 国立女性教育会館 大澤正男

議事に先立ち、出席及び委任状提出館が加盟館の過半数であり、総会の成立が確認された。また、参加者名簿及び平成26年度加盟館名簿の確認があった。

議 事

1. 報告事項

(1) 平成25年度事業報告 報告者：文教大学越谷図書館 鈴木正紀

総会資料「平成25年度事業報告」に基づき報告があった。報告の中で、広報関係事業の追加として、大学図書館研究 No. 97 に共著で「埼玉県大学・短期大学図書館協議会（SALA）のあゆみと今後の展開」を掲載し、本日の参考資料として配布し、また近日中にリポジトリ SUCRA に登録する予定との話と、上記大学図書館研究の論文等を基にSALAの活動を私立大学図書館協会協会賞に応募したが、惜しくも不採択となったとの話があった。

引き続き各事業の報告が以下のとおり行われた。

①第25回研修会報告 報告者：淑徳大学みずほ台図書館 相澤修一郎

総会資料「SALA第25回研修会報告」及び「【SALA】第25回研修会アンケート」に基づき報告があった。

②Open Library Weeks 実施報告

1)城西大学実施報告 報告者：城西大学水田記念図書館 若生政江

総会資料「Open library Weeks 2013 城西大学」に基づき報告があった。

2)跡見学園女子大学実施報告 報告者：跡見学園女子大学新座図書館 菊地秀明

総会資料「Open Library Weeks 2013 跡見学園女子大学「図書館の学習支援体制（ラーニング・コモンズ）」実施報告」に基づき報告があった。

3)文教大学実施報告 報告者：文教大学越谷図書館 鈴木正紀

総会資料「Open Library Weeks in Bunkyo University」に基づき報告があった。

③SALA会報22号の発行 報告者：埼玉女子短期大学図書館 湊伸子

総会資料「SALA 会報 22 号（2014 年 3 月）刊行報告」に基づき報告があった。

④「図書館と県民のつどい埼玉 2013」について

報告者：跡見学園女子大学新座図書館 菊地秀明

総会資料つどいのチラシ及び「図書館と県民のつどい埼玉 2013 記録」（埼玉県図書館協会）に基づき報告があった。

⑤共通閲覧証利用調査報告 報告者：文教大学越谷図書館 常盤哲平

総会資料「平成 25 年度 SALA 共通閲覧証利用調査結果報告」に基づき報告があった。
なお、意見として提案のあった「訪問時 1 回限りの利用カードの発行」については、今後幹事会で検討していくこととなった。

⑥共同購入事業成果報告 報告者：城西大学水田記念図書館 若生政江

総会資料「平成 25 年度 SALA 共同購入実態調査報告」及び「SALA 共同購入事業提案のまとめ（2014 年度）」に基づき報告があった。

(2) 平成 25 年度会計報告 報告者：埼玉大学図書館 柴原秀美

総会資料「平成 25 年度決算報告（案）」に基づき報告があった。

(3) 平成 25 年度監査報告

報告者：埼玉学園大学・川口短期大学情報メディアセンター 関矢久美子
会計監査の結果適正に処理されていることを認める旨の報告があった。

獨協大学図書館安保氏から「決算報告は、審議事項に該当するのではないか」との質問があった。当協議会会則に総会の議決事項を定めている第 7 条第 1 項第 2 号「予算および決算に関する事項」であることが確認されたので、報告事項ではなく協議事項として総会に提案し審議することになった。会計報告、監査報告とも承認された。

2. 協議事項

(1) 平成 26 年度事業計画（案） 報告者：文教大学越谷図書館 鈴木正紀

総会資料「平成 26 年度事業計画（案）」「Open Library Weeks 企画紹介」「Open Library Weeks アンケート結果」「図書館と県民のつどい埼玉 2014 計画概要」に基づき、各事業について説明があり、承認された。なお、各事業について以下のとおり補足説明があった。

- ・研修会については、国立大学図書館協会関東甲信越地区協会が行う職員研修会との合同開催とする予定
- ・埼玉県地域共同リポジトリについては、SUCRAからNIIのJAIRO Cloudへの移行を検討しているが、NIIがJAIRO Cloudへのリポジトリ既設機関の参加を今年度後半から受け付ける見込みとなり、またXooNIpsからJAIRO Cloud への登録データの移行も目途が立っている。今後、地域リポジトリとして移行するのか、各館独自で移行するのか等を検討していく必要がある。

(2) 平成 26 年度予算 (案)

総会資料「平成 26 年度予算 (案)」に基づき説明があり承認された。なお、平成 26 年度の新規及び変更事項は以下のとおり

- ①Open Library Weeks主催館に対する補助を、会議費にOLW経費として1館当たり5千円、10館分で計5万円計上
- ②事前見積りの結果、会報発行に要する経費を 10 万円に減額
- ③4 年後の SALA30 周年記念イベント実施のため年 5 万円の積み立てを開始

(3) 幹事館の選出

総会資料「埼玉県大学・短期大学図書館協議会 平成 26-27 年度幹事館 (案)」に基づき説明があり承認された。

(4) 会計監査館の選出

総会資料「埼玉県大学・短期大学図書館協議会 平成 26-27 年度会計監査館 (案)」に基づき説明があり承認された。

その他に協議事項の提案を求めたが、特に提案はなかった。

閉会の辞 淑徳大学みずほ台図書館 相澤修一郎